

直売所を起点にした販路拡大の取組

西条市農協(愛媛県)

取組の概要

- 平成7年に、直売所「ときめき水都市」を設立し、女性中心の運営により、野菜の新たな販路を構築(現在6店舗)
- 平成16年には、地元の米を100%使用した米粉パンを製造・販売する「あぐり工房」を直売所に併設し、事業を拡大

事業化(プロジェクト化)成功のポイント

1 女性部による小さな売り場からスタートし規模拡大

当初は女性部が余剰野菜等を持ち寄り、農協の空き地で販売(青空市場)していたところ、新鮮で値段が安いと好評で売れ行きが良かったため、平成7年に役員の発案で野菜、米を中心に扱う直売所「ときめき水都市」を設立した。

直売所の店舗実務は女性が大半を担っているほか、女性部を含めた運営委員会で運営方針を決定しており、平成29年3月には、直営店3店、提携店3店舗の計6店舗となっている。

→ 販売事業に占める直販事業の割合は約3割となり、販売事業の柱となっている。

2 加工事業への取組により売上アップを狙う

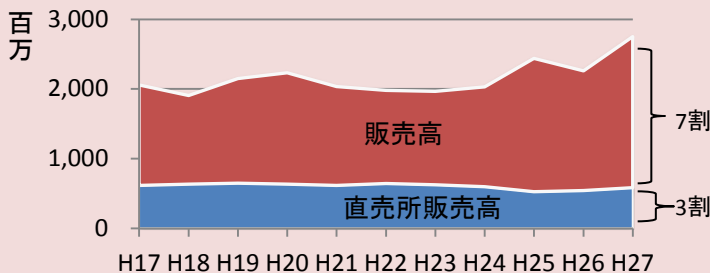
① 米の販路拡大を目指し、平成16年に直売所本店隣に地元の米を100%使用した米粉パンの製造・販売ができる施設「あぐり工房」を設立し、男性2名女性3名により約80種類の米粉パンを製造・販売しているほか、女性スタッフ4名にて喫茶コーナーも設置し売上を伸ばしている。

② 加工品の開発・販売のため、平成25年5月に女性部の自家製味噌加工施設を移設し、販売用味噌加工場、製麺所を併設して「ふれあい工房」を設立。

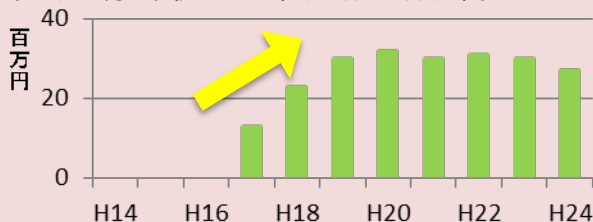
平成25年7月には、「あぐり工房」総菜部を立ち上げ、旬の野菜や水都市出荷の野菜を活用した総菜の製造を開始。

農協のメリット・農家のメリット

<農協の販売事業の全販売高>



<あぐり工房(米粉パンの直売所)の販売高>



<直売所(水都市本店)の売上>

「あぐり工房」の設置等により集客力がアップ(5割増)し、直売品の売上も増大(6割増)

